

2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [目黒区立大岡山小学校] 担当教諭名 [鈴木 信貴] (6年3組 36名)

交流相手国 [メキシコ]

海外学校名 [Comunidad Educativa Yaxunah] 担当教諭名 [Lucy Nava]

■実施教科・時間数について教えてください。

| | 教科 | 単元名 | 時間数 |
|-------------------------|-----------|-------------------|-----|
| アートマイルに関連した 実施教科・時間数 | 総合的な学習の時間 | 伝えよう わたしたちの 日本文化を | 20 |
| | 総合的な学習の時間 | 世界の国と交流しよう | 25 |
| | | | |

■作品について教えてください。

| 題 (テーマ) | 環境 |
|------------|--|
| 絵に込めたメッセージ | 環境をテーマに日本とメキシコの特徴を絵に盛り込み、互いに協力して地球をいたわろう、優しくしようとする思いを絵を通して多くの人にメッセージを送る。 |



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果 | 課 題 |
|--|--|
| メキシコを学ぶことを通じて海外の国々への興味・関心が大いに高まった。英語でのコミュニケーションを目指し、自己紹介や日本文化の特徴などを英語で伝えようと英語への学習意欲の高まりにもつながった。環境への取り組みや意義について全員で共通理解を深めることができた。 | 時差の都合で思うように意志疎通を図るのが難しかった。絵のコンセプトを共有するのに苦労した。英語でのメール介してのコミュニケーションが大変だった。 |

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

| 担当教諭や子どもたちによる広報 | 校内・保護者や地域の方からの反響 |
|--------------------------------------|--|
| 校内展覧会で日本側の完成版を展示 卒業式に両国完成版を体育館に展示 | 壁画を通しての海外との交流について概ね好意的だった。校内の教職員も興味深く質問や学習の流れについて質問する人が多かった。 |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面 | 時期 | 活動内容 | 児童生徒の反応 | 実施教科 |
|-------|-----------------|---|---|------|
| 導入 | 7月 | 今後の学習についての見直しをもつ。 メキシコについて調べ学習 フォーラムを通じての自己紹介 | 今後の学習への期待、新しい試みへの期待する児童が多かった。 | 総合 |
| 情報収集 | 7月 9月 10月 | メキシコの自然、文化、生活習慣などを調べ、メキシコをよりよく理解する。 DVDでの視聴覚を通じてメキシコのイメージを共有する。 | PCや図書室での調べ学習を通して、日本との共通点や相違点について楽しそうに記録し、冊子作りに向けて意欲的に取り組んでいた。 | 総合 |
| テーマ検討 | 11月 | フォーラムを活用 日本側から構図の提案をし、メキシコの側のアイデアも取り入れ、「環境」をメインテーマに設定し、壁画のコンセプトを決定 | 壁画のコンセプトを中心的に行う実行委員を立ち上げ、一人一人の役割分担を明確にした。メキシコについての冊子づくり、壁画と同梱する日本紹介ポストカード作りを行う。 | 総合 |
| 制作 | 12月 | 実行委員を中心に壁画作りに着手 過程ごとに中間報告を行い、情報の共有化を行う。 | 壁画作りを通して、一人一人の役割や協力について活動を通して改めて学ぶ。協同作品の意義や作りあげる過程の大切さを全員で学ぶ。 | 総合 |
| 鑑賞 | 3月 | 協同制作した絵の観賞 スカイプを通じてのテレビ交流 学習の振り返り | 完成した絵を観賞し、今までの学習を振り返る。スカイプを活用し、英語での自己紹介、自国の紹介、歌を披露し異文化交流を行う。 | 総合 |

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

| 学習目標・つけたい力 | 目標 | 成果 | 成果についてそう感じた場面・理由 |
|--------------------------|----|----|---|
| 自文化の理解 | A | 4 | 日本について改めて調べ、学ぶことで、当たり前だと思われていた事にも疑問をもち、自ら調べ、疑問を解決しようとする姿が見られた。 |
| 異文化の理解 | A | 4 | メキシコ文化と日本文化の相違点や共通点について理解を深めた。メキシコだけでなく、他国の文化や伝統にも敬意をもつようになった。 |
| コミュニケーション力 (説明・共感・英語) | B | 3 | 英語への興味は高まったが、特定の会話文の修得に偏り、幅広くという意味では課題が残った。 |
| 情報活用能力 (情報収集・発信) | B | 4 | 情報を収集する方法としてPCを活用することが多かったが、情報もとの裏付けが不十分だったり、本や資料よりも安易にPCに頼ろうとする姿勢は大きな課題といえる。 |
| 人間関係をつくる (学級内・交流相手) | A | 4 | 協同で作業を行うことの手順を体験を通して学ぶ改めて学ぶことができたのは大きな収穫だった。活動を通して友達の新たな一面を見ることができた。 |
| 協働する力 (役割分担・協力) | A | 4 | リーダーシップだけが評価されるものではなく、フォロワーシップについても理解を深めることになった。 |
| 学習を追究する意欲 | A | 3 | 年間を通じて意欲を維持した子と活動内容によって意欲にばらつきが見られる子がいた。 |
| 表現力 (伝えたいことを絵で表す) | A | 4 | 思いを形にすることの難しさと楽しさを学ぶことができた。冊子作りを通して自分の個性を発揮することができていた。 |
| 作品を鑑賞する力 | A | 4 | 作品の品評だけでなく、それまでの過程について思いを馳せ、その上での振り返りをする児童が多く、作品の完成度だけで判断する児童が少なかった。 |

